

# ガイドボランティア活動記録（令和7年）

井上尚子・中原祥之・  
久保晴盛・富澤まり

## はじめに

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物の解説等を中心としたガイドボランティアを導入し、令和7年12月現在49名が在籍している。ガイド活動は、定期ガイドとして屋内施設の大温室・ベゴニア温室・フクシア温室などと、屋外施設の花の進化園・ロックガーデンのガイドを毎週土・日曜日と祝日に行っている。また、季節に応じてサクラ・バラ・ハナショウブ・アジサイなどを案内している。このほかに、申込ガイドとして、学校の自然体験学習や子供会活動、福祉施設などが募集した団体などを案内している。導入の経緯については平成13年度栽培記録（第23号）に記している。

近年は酷暑のため、夏期には各自判断して無理のない範囲でガイドを実施することや、涼しい温室内や木陰での休養、こまめな水分補給などの熱中症対策を推奨していた（中原ほか2025）。今年令和7年6月1日に施行された労働安全衛生規則の一部改正の趣旨を踏まえ、暑さ指数に基づいたガイド実施の可否の判断基準を暫定的に設けた。

## 夏期のガイド実施の可否 判断基準の作成

夏期ガイドの実施をどうするか検討するにあたって、まず環境省の熱中症予防情報サイトにて広島市の過去5年間の昼間の日最高暑さ指数(WBGT)※を調べた。その結果、当該サイトの日常生活に関する指針で「**嚴重警戒**」とされる日最高暑さ指数28以上31未満の日数は、7月から9月にかけて多く、前年は月に20日以上あったことが分かった(表1)。特に当該指針で「**危険**」とされる日最高暑さ指数31以上の日は、7月と8月で記録されていた(表2)。一方、過去6年間の申込ガイドの数を調べると、7月から9月までの申込数は年に1件あるかないかで、非常に少なかった(表3)。以上のことから、令和7年度は7月から9月にかけてのガイドの申し込みは受け付けないことにした。

※環境省の熱中症予防情報サイトでは、日本生気象学

会の承諾を得て、出典元の「WBGT」を「暑さ指数(WBGT)」とし、値を気温(単位は℃)と区別しやすいように、単位のない指数として表記している。本報でもこれにならって単位を省いた。

夏期のガイド実施の可否の判断基準を作成するにあたっては、環境省の熱中症予防情報サイトを参考に、下記の通り定めた。

## ●夏期のガイド実施の可否 判断基準(暫定)

「広島県」の日最高暑さ指数(WBGT)が31以上又は「広島県南部」の日最高気温が35℃以上の日は、活動中止とする。

・「広島県」の日最高暑さ指数は環境省の熱中症予防情報サイト <https://www.wbgt.env.go.jp/> を参照する。基本的に前日の夕方5時の予報で判断する。

・「広島県南部」の気温は、気象庁の天気予報 [https://www.data.jma.go.jp/multi/yoho/yoho\\_detail.html?code=340010&lang=jp](https://www.data.jma.go.jp/multi/yoho/yoho_detail.html?code=340010&lang=jp) を参照する。基本的に前日の夕方5時の予報で判断する。

表1 広島市の WBGT28 以上 31 未満の日数

	6月	7月	8月	9月	10月
2020年	0	4	30	5	0
2021年	0	17	16	1	0
2022年	4	19	22	7	0
2023年	1	22	29	12	0
2024年	0	26	27	20	0

表2 広島市の WBGT31 以上の日数

	6月	7月	8月	9月	10月
2020年	0	0	0	0	0
2021年	0	0	1	0	0
2022年	0	0	2	0	0
2023年	0	2	6	0	0
2024年	0	1	6	0	0

表3 申込ガイド実施数

	6月	7月	8月	9月	10月
2019年	0	0	0	0	1
2020年	0	0	0	0	4
2021年	0	1	0	0	0
2022年	0	0	0	0	0
2023年	6	1	0	0	2
2024年	1	0	1	0	3

## ガイド活動

令和7年1月から12月にかけて、のべ13,984人をガイドした(表4)。令和7年4月～12月までのガイド活動を見ると、令和6年に比べて



写真1 団体ガイドの様子



写真2 クラフトづくりの様子

表4 定期ガイド・申込ガイド実績表

年 月	定 期 ガ イ ド ※1									申込ガイド ※2		合 計
	日 数	活動休止 日数 ※3	温 室			屋 外			小 計	件 数	人 数	
			ペゴニア 温室	大温室 ※4	フクシア 温室※4	花の進 化園	ロック ガーデン	その他 ※5				
令和6年4月～12月	85	0	2,142	3,107	2,255	1,366	990	1,214	11,074	11	277	11,351
令和7年1月	9	0	181	336	202	100	81	0	900	0	0	900
2月	10	0	225	683	231	67	146	0	1,352	2	19	1,371
3月	11	0	249	566	389	210	252	25	1,691	2	43	1,734
令和6年度合計	115	0	2,797	4,692	3,077	1,743	1,469	1,239	15,017	15	339	15,356
令和7年4月	9	0	312	596	270	304	175	39	1,696	1	14	1,710
5月	11	0	314	616	360	212	247	608	2,357	3	269	2,626
6月	7	2	201	276	187	92	79	168	1,003	5	94	1,097
7月	1	8	17	40	10	4	3	0	74	0	0	74
8月	1	10	25	30	20	0	1	0	76	0	0	76
9月	5	4	121	113	116	127	33	455	965	0	0	965
10月	9	0	236	403	189	149	57	0	1,034	3	98	1,132
11月	12	0	449	482	247	196	125	0	1,499	4	146	1,645
12月	8	0	67	334	138	44	60	0	643	1	11	654
令和7年合計	93	24	2,397	4,475	2,359	1,505	1,259	1,295	13,290	21	694	13,984
令和7年4月～12月	63	24	1,742	2,890	1,537	1,128	780	1,270	9,347	17	632	9,979

令和6年4～12月の詳細は前号(栽培記録第46号)に記したので省略した。

※1 定期ガイド：土・日の午後と祝日に実施したガイド。

※2 申込ガイド：団体から申し込みのあったガイド。

※3 「夏期のガイドボランティア実施に係る指針」に基づき、ガイドの活動を中止とした日数。

※4 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

※5 その他：サクラ、バラ、ハナショウブ、アジサイなど特定の時期の植物案内と夜間開園ガイドの合計。ジュニアプロジェクトは含まない。

定期ガイドは1,727人減少し、申込ガイドは6件355人増加した。

定期ガイドが減少したのは、今年は前述の夏期ガイド実施の可否判断基準に従って、計24日、ガイドを中止としたためと考えられた。

一方、申込ガイドは、7～9月受付を中止したのにも関わらず、去年より増加していた(写真1・表4)。夏期の団体ガイドの申し込みは少なく、中止の影響は出なかったと考えられる。

### 自主活動

#### 【リースの販売・クラフトづくり】

5月4日のみどりの日と11月3日の開園記念日にはガイドボランティアコーナーを設け、手作りリース販売やクラフトづくりの指導を行った(写真2)。

#### 【ジュニアプロジェクト】

令和3年から団体からの申し込みによる臨時開催のみとしている。参加者は合計28名であった(表5)。

表5 ジュニアプロジェクト実績表

開催日	内 容	参加者数	指 導 者
6月26日	カモフラージュ	22	北野(孝)、北野(和)、 長田、北本、米盛
12月1日	カモフラージュ	6	長田、河野、若宮、 北野(孝)、北野(和)
令和7年1月～12月 合計		28	

#### 例会

活動の報告・協議及び植物の学習・研修を行う例会を、偶数月の土曜日または日曜日の午前10時から12時まで計6回開催した(表6)。例

会の際に研修として、職員が植物に関する話題提供を約1時間行った(表6)。

### 園から依頼した活動

#### 【特別ガイド】

桜鑑賞会、ローズガイド、アジサイ・ハナシヨウブガイドを実施し、秋の夜間開園の際には夜に咲く植物と鳴く虫について解説した(表6)。特別ガイドの前には職員による研修を行った(写真3、表6)。のべ1,295名の来園者にガイドした。

#### 【秋のグリーンフェア ワークショップ】

秋のグリーンフェア期間の平日、10月27日(月)から10月31日(金)までの5日間、イベント広場のテントでワークショップを実施した(表6)。1つは「植物を使って簡単な飾りを作ろう」と題したワークショップである。木の実やドライフラワーなどの植物素材と色紙、のり、ハサミなどを見本や作り方説明書と共に机に置いておき、希望者にこれらを自由を使って楽しんでもらうという内容である(写真4)。もう一つは「キャンパスはCDケース」と題したワークショップで、CDケースに色紙を敷きこれをキャンパスに見立てて、木の実や押し花など、CDケースに収まる薄さの素材を使って好きな絵を描くという内容である。こちらは実施日にボランティアがつき、参加者に作り方を説明するという方法で実施した(写真5)。

### おわりに

今年は日最高暑さ指数に基づいた判断基準で定期ガイド実施の可否を決めたが、迷う方が多く、ガイドボランティアからの問い合わせが多かった。実質7月、8月、9月前半は判断基準に従うとガイドできる日がほとんどなかったため、初めから休みを設定することを検討したい。申込ガイドは7月から9月まで受け付けなかったが、ガイド利用者数は昨年と比較しても減っておらず、問題ないと思われた。この運用は今後も踏襲していきたい。

今年初めての試みとして、秋のグリーンフェアの平日に、イベント広場の空いたテントを使って有人、無人のワークショップを実施した。これまで空いたテントが並び閑散とした印象だったイベント広場が、これらがあることで楽しい雰囲気になったと感じた。参加者の満足度も高

く、協力いただいたボランティアからも好評であった。

一方、無人状態のコーナーはもう少しこまめに状況を見て、道具の整理や材料の補充をする必要があるのではないかという意見もいただいた。これは今後の検討課題である。

### 引用文献

中原祥之・久保晴盛・富澤まり 2025. ガイドボランティア活動記録(令和6年). 広島市植物公園栽培記録46:56-58



写真3 ローズガイド研修の様子



写真4 ワークショップ「植物を使って簡単な飾りを作ろう」



写真5 ワークショップ「キャンパスはCDケース」

表6 例会・研修及び特別ガイドのガイド参加人数

開催日	場所	例会及び研修内容	ガイド参加人数
令和7年(4月～12月)		(内容は植物公園栽培記録第46号に記載)	344
2月1日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「春の特別ラン展を楽しむために」 講師：第一栽培・展示係 上野明技師	35
3月28日(金)	山口県	園外研修 やまぐちフラワーランド	16
令和6年度 合計			395
3月23日(日)／30日(日)／ 4月6日(日)／12日(土)	植物公園内	桜観賞会	51
4月13日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告) 「絶滅危惧植物に対する特殊な土壌の役割」 講師：第二栽培・展示係 山本技師	33
5月4日(土・祝)	植物公園内	みどりの日・植物公園の日イベント (リース、苔玉等販売、クラフト作り)	15
5月10日(土)	バラ園	バラガイド研修 講師：第二栽培・展示係 泉川係長	6
5月11日(日)／17日(土)／ 18日(日)／24日(土)／25日(日)	バラ園	ローズガイド	8
5月31日(土)	日本庭園	ハナショウブ研修 講師：企画広報係 久保技師	7
6月7日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「園内のモリアオガエル」 講師：第二栽培・展示係 佐藤技師	30
5月31日(土)／6月1日(日)／ 7日(土)／8日(日)／14日(土)／ 15日(日)／21日(土)／22日(日)	日本庭園	アジサイ・ハナショウブガイド	10
8月2日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「むしと植物」 講師：第二栽培・展示係 佐藤技師	38
9月6日(土)	里山の野草園、 花の進化園	鳴く虫講座 講師：第二栽培・展示係 佐藤技師	7
9月19日(金)	大竹市	下瀬美術館見学 講師：企画広報係 久保技師	18
9月6日(土)／13日(土)／ 14日(日)／20日(土)／27日(土)	植物公園内	秋の夜間開園、植物及び鳴く虫ガイド	17
10月4日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「被爆80年 特別企画展「被爆樹木」解説」 講師：企画広報係 中原技師	34
11月3日(月・祝)	イベント広場テント	リース等販売・クラフトコーナー	17
10月27日(月)～10月31日(金)	イベント広場テント	ワークショップ ‘植物を使って簡単な飾りを作ろう’	2
10月30日(木)／31日(金)	イベント広場テント	ワークショップ ‘キャンパスはCDケース’	6
12月7日(日)	植物公園講堂、 展示温室	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「クリスマス飾るフラワー展 解説」 講師：第一栽培・展示係 竹本課長補佐	31
令和7年度(4月～12月)小計			330
令和7年度(1月～12月)合計			381